

平成26年度 第8回理事会

日 時 平成26年12月5日（金） 16:30～

場 所 森林農地整備センター 役員会議室

I. 議 題

1. 森林保険業務移管に係る中期目標、中期計画、業務方法書の変更（案）
について
2. 平成26年度賃金改定について

II. 報 告

1. 森林農地整備センターの職員の採用状況について
2. 財政融資資金等の実地監査について
3. 水源林造成事業に係る労働安全衛生指導等への取組みについて
4. 水源林シンポジウム「災害に強い森林づくりをめざして」の開催結果に
ついて
5. 東北支所・育種場の監査結果について
6. その他

資 料

- Ⅱ－１ シンポジウム「災害に強い森林づくりをめざして」の開催
結果について
- Ⅱ－２ 東北支所・育種場の監査結果について
- Ⅱ－３ 主要行事(平成２６年１１月６日～平成２６年１２月４日)

シンポジウム「災害に強い森林づくりをめざして」の開催結果について

森林農地整備センターは、11月11日(火)に京都市左京区の京都教育文化センターで、シンポジウム「災害に強い森林づくりをめざして」を開催しました。

近年台風による豪雨などで土砂災害が多発していることを受け、近畿地方はもとより広島県など他の各地から、林業関係者のみならず多数の一般の方々にも参加いただき、総勢約200名規模でのシンポジウムとなりました。また、マスコミ各社が取材に訪れ、森林が防災・減災に果たす役割や今後の水源林整備のあり方について、広く情報発信できました。

開会にあたって、城土森林農地整備センター所長から主催者あいさつがあり、続いて京都府農林水産部の小田一彦部長（代読 京都府農林水産部林務課 高奥信也課長）から来賓のあいさつをいただきました。

基調講演では、京都大学防災研究所の松浦純生教授から「土砂災害の発生と森林環境－過去の教訓を踏まえた未来への備え－」をテーマに、森林と土砂移動のかかわりや森林の変遷と土砂災害の特徴についてお話があり、「森林は最も経済的に土砂生産を抑えることができ、常に森林を健全な状態に保っておくことが必要である。」との発表がありました。

基調講演につづいて、森林・林業関係の5名の方々より災害復旧への取組や災害に強い森林づくりなどについてご報告いただき、当センターからは近畿北陸整備局の船城水源林業務課長が「水源の森林づくりの取組」と題して水源林造成事業における取組の現況や事例について報告しました。

パネルディスカッションでは、参加者から数多くの質問票が出され、パネリストの方々から、代表的な質問へ回答いただくとともに、山地災害が多発する中での森林整備のあり方等について意見交換がありました。最後にはコーディネーターの松浦純生教授から「多様で健全な森林をつくることは下流域の防災・減災に一定の効果があり、水源林造成事業は水源涵養機能の向上だけでなく、山地災害の防止や軽減に役立っている。」「森林農地整備センターは森林総合研究所の組織であり、研究開発部門と連携するのに良い環境にあることから、この環境を生かした取組にも期待したい。」とのまとめがありました。

最後に、鈴木理事が閉会のあいさつを行い、盛会のうちに終了しました。

〈シンポジウムのプログラム〉

開 会 (13:00)

主催者あいさつ

来賓ごあいさつ

基調講演 「土砂災害の発生と森林環境―過去の教訓を踏まえた未来への備え―」

京都大学防災研究所地盤災害研究部門傾斜地保全研究分野

教授 松浦純生

報告 1 「紀伊半島大水害を経験して―山を守ることが我々の責務―」

十津川村長 更谷慈禧

報告 2 「大規模災害からの復旧に向けた取組について」

近畿中国森林管理局計画保全部長 飯田喜章

報告 3 「災害に強い路網整備について」

清光林業株式会社社長 岡橋清元

報告 4 「多発する表層崩壊と災害に強い森林づくり（広島土砂災害の現状報告を含む）」

森林総合研究所企画部長 落合博貴

報告 5 「水源の森林づくりの取組」

森林農地整備センター近畿北陸整備局水源林業務課長 船城保明

パネルディスカッション

松浦純生氏（京都大学防災研究所教授）

高奥信也氏（京都府農林水産部林務課長）

更谷慈禧氏（十津川村長）

飯田喜章氏（近畿中国森林管理局計画保全部長）

岡橋清元氏（清光林業株式会社社長）

落合博貴氏（森林総合研究所企画部長）

閉会あいさつ

閉 会 (17:30)

〈シンポジウムの様子〉



基調講演の様子



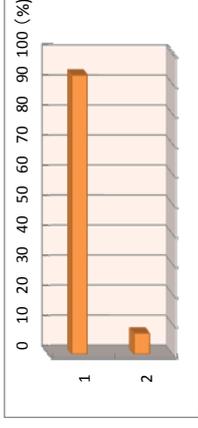
会場の様子

京都シンポジウム：当日会場にて行ったアンケートの結果

(アンケート回収数：90)

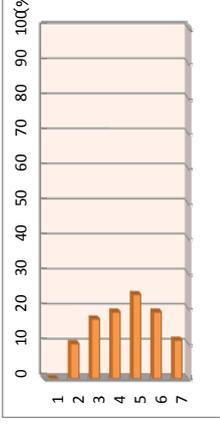
【性別】	(回答数)	(割合)
1 男性	82	93
2 女性	6	7
合計	88	100

※2票は記載なし。



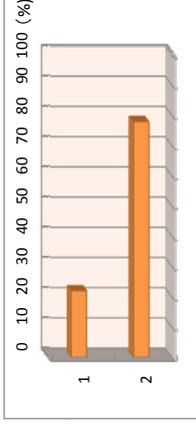
【年代別】	(回答数)	(割合)
1 10代	0	0
2 20代	9	10
3 30代	15	17
4 40代	17	19
5 50代	21	24
6 60代	17	19
7 70代以上	10	11
合計	89	100

※1票は記載なし。



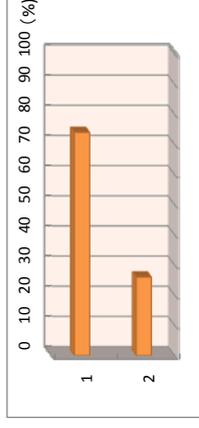
【お住まい】	(回答数)	(割合)
1 京都市内	20	22
2 市外	69	78
合計	89	100

※1票は記載なし。



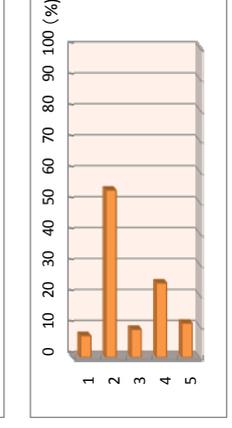
【職業別】	(回答数)	(割合)
1 森林・林業関係	66	74
2 その他	23	26
合計	89	100

※1票は記載なし。



【シンポジウムを何で知ったか】	(回答数)	(割合)
1 インターネット	6	7
2 案内用チラシ、ポスター	49	54
3 知人からの紹介	8	9
4 学校、団体等からの紹介	22	24
5 その他	10	11
合計	95	106

※割合は回答数をアンケート回収数90票で除した結果。

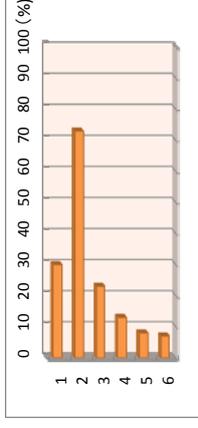


※複数回答可

【シンポジウムの参加理由】

- 1 聞きたい講演者の講演があったから
- 2 災害に強い森林(もり)づくりに興味があったから
- 3 水源の森林づくりに興味があったから
- 4 水源林造成事業に興味があったから
- 5 知人に誘われたから
- 6 その他
- 合計 139

※割合は回答数をアンケート回収数90票で除した結果。

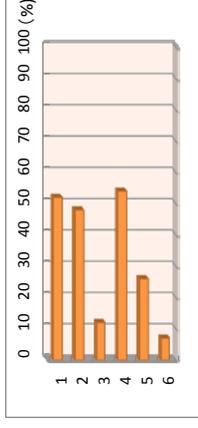


※複数回答可

【興味を持った演題】

- 1 基調講演「土砂災害の発生と森林環境一過去の教訓を踏まえた未来への備えー」
- 2 報告1 「紀伊半島大水害を総括してー山を守ることで我々の責務ー」
- 3 報告2 「大規模災害からの復旧に向けた取組について」
- 4 報告3 「災害に強い路網整備について」
- 5 報告4 「多発する表層崩壊と災害に強い森林づくり (広島土砂災害の現状報告)」
- 6 報告5 「水源の森林づくりの取組」
- 合計 179

※割合は回答数をアンケート回収数90票で除した結果。



【発表内容の理解】

- 1 よく理解できた
- 2 どちらともいえない
- 3 あまり理解できなかった
- 合計 87

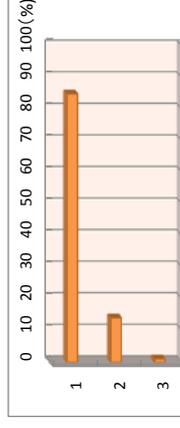
※3票は記載なし。



【発表内容の役立】

- 1 役に立った
- 2 どちらともいえない
- 3 あまり役に立たなかった
- 合計 87

※3票は記載なし。

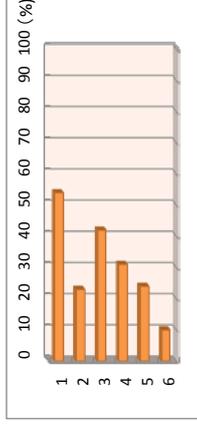


※複数回答可

【森林農地整備センターへの期待】

- 1 計画的な森林整備の実施
- 2 低コスト造林の推進
- 3 地域農山村の経済への貢献、雇用の創出
- 4 木材利用への貢献
- 5 研究開発部門等と連携した新たな施業方法等の普及・指導
- 6 その他
- 合計 167

※割合は回答数をアンケート回収数で除した結果。



東北支所・育種場の監査結果について

実施日 11月19日(水)～21日(金)
対象地 東北支所・山形実験林、東北育種場
説明者 東北支所長、地域調整監、庶務課長 ほか 担当者
東北育種場長、連絡調整課長、育種課長 ほか 担当者

概要

11月7日(金) 事前調査(本所) 岩間監査室長

- 東北支所、東北育種場、山形実験林、好摩実験林、奥羽増殖保存園の保有資産状況。
- 貸与契約の状況。
- 物品契約等の状況。

11月19日(水) 東北育種場

- 東北育種場の組織、資産、施設等の概要説明を受けた。
- 研究・育種事業については、東関東大震災後の海岸林復興のため供給が急がれているマツノザイセンチュウ病抵抗性クロマツの大量生産技術の開発について進捗状況の概要説明を受け、苗畑等の施設見学を行った。
- また、建材として需要の高いカラマツの種子の安定的生産技術開発、及び、スギエリートツリーの選抜、開発状況についての概要説明を受けた。
- 広葉樹の優良形質品種選抜、「林木遺伝子銀行110番」で行っているクローンの生育状況等も苗畑で視察することができた。
- 奥羽増殖保存園について今回視察は行わなかったが、山形県の多雪地帯における育種事業に活用しているとの説明があった。

【総括】

- 保有資産の活用および管理状況に特段の問題は無い。
- 用地の貸与契約に関して特段の問題は認められない。
- 物品契約、苗畑業務の業者委託についての入札は適正に行われている。
- 海岸林再生のために多量のクロマツ苗が必要とされるが、マツノザイセンチュウ病が北上して既に秋田、岩手に侵入している現状から抵抗性クロマツ苗木の供給に注力していただきたい。
- スギエリートツリーも順調に進んで9クローンを開発しており、多雪地帯の特徴であるスギ雪害抵抗性品種等の開発も順調に行われている。
- 今後とも、東北地域における森林総研組織内の連携を密にとりつつ、国、県等の地域との係わりに積極的に取組み、成果の発信に努められたい。

11月20日(木) 東北支所、好摩実験林

- 東北支所の組織、資産、施設の概要について説明を受けた。
- 産学官連携推進の取り組み状況に関しては、低コスト再造林技術の開発、海岸林復興に向けた調査・分析、技術開発、及び、マツノザイセンチュウ病の防除体制の構築支援等について説明があった。
- 重点課題 G について、蔵王地域におけるアオモリトドマツの変色被害の現状と対策法、マツノザイセンチュウ病の簡易検出キットの開発、シカの生息域拡大等に関して成果の概要説明があった。
- 東日本大震災の被災地復興に関する取り組みとして、海岸防災林の再生に対する取り組み状況、及び、福島第1原発の事故による放射性物質の汚染の実態調査について説明があった。
- 資産管理状況について、東北支所の敷地外周を視察し、境界杭の状況を確認した。巢子川により一部浸食されている場所もあったが、特段の問題はなかった。
- 好摩実験林については、境界に縄張り、看板を出す等、実験林内への立ち入りを防ぎ、事故が起きないように管理されていることを確認した。

11月21日(金) 山形実験林

- 山形実験林の施設と、近隣に設置されている釜淵森林利水試験地の現地監査を行った。試験地内にある民有地(墓地)に対する対応状況、気象観測装置、利水試験施設等について事務所内と現地で説明を受けた。

【総括】

- 保有資産の活用および管理状況に特段の問題は無い。
- 物品契約等については適正に行われている。
- 好摩、山形実験林の管理については適切に行われている。
- 低コスト再造林技術の普及、海岸林再生へのコンテナ苗の導入を推進し、成果を上げており、今後とも広報・技術普及に努められたい。
- マツノザイセンチュウ病の簡易検出キットの開発では特許を取得し、実用に供されてライセンス料も得ている。北上を強めるマツノザイセンチュウ病の防除においては関係機関と協力して今後とも努力してほしい。
- 山形実験林に隣接する釜淵利水試験地は75年に及ぶ観測を続け成果を生んでいる。更新した気象観測装置を活用し観測を継続されたい。
- 東北地域における森林総研組織内の連携を密にとりつつ、国、県、大学等の地域との係わりに積極的に取り組み、成果の発信に努められたい。
- 好摩実験林は、現在、林床植生の生態調査を行っているが、今後の利用については未定であることから、他の活用法を検討されたい。

報告者：西田篤實、滑志田隆 監事

主要行事(平成26年11月6日～平成26年12月4日)

月 日	行事内容	出席者
11月6日(木)	理事会(第7回)	理事長、企画・総務担当理事、研究担当理事、森林農地整備センター所長、業務承継円滑化・適正化担当理事、両監事
	研究評議会	理事長、企画・総務担当理事、研究担当理事、森林農地整備センター所長、業務承継円滑化・適正化担当理事、両監事
	研究所会議(第2回)	理事長、企画・総務担当理事、研究担当理事、森林農地整備センター所長、業務承継円滑化・適正化担当理事、両監事
7日(金)	業績審査委員会(第3回)	理事長、企画・総務担当理事、研究担当理事
	環境委員会(第2回)	理事長、企画・総務担当理事、研究担当理事、業務承継円滑化・適正化担当理事
	産学官連携推進会議	理事長、企画・総務担当理事、研究担当理事
9日(土)～ 12日(水)	アジア太平洋森林研究機関連合(APAFRI)(マレーシア)	研究担当理事
11日(火)	防災訓練	理事長
	森林農地整備センターシンポジウム	企画・総務担当理事、森林農地整備センター所長、業務承継円滑化・適正化担当理事、滑志田監事
	「気候変動に対応した循環型食料生産等の確立のためのプロジェクト」研究成果発表会	西田監事
12日(水)	アグリビジネス創出フェア2014若手農林水産研究者表彰	理事長、研究担当理事
	独立行政法人監事サロン(第10回)	両監事
14日(金)	アグリビジネス創出フェア2014	西田監事
16日(日)～ 21日(金)	カンボジア森林局主催国際技術ワークショップ	研究担当理事
18日(火)	環境研究シンポジウム(第12回)	理事長、森林農地整備センター所長、西田監事
19日(水)～ 20日(木)	環境研究三所連絡会	理事長
19日(水)～ 21日(金)	監事監査(東北育種場、東北支所、安比森林気象試験地、好摩実験林、山形実験林)	両監事
21日(金)	全国林業経営推奨行事賞状伝達贈呈式	理事長
22日(土)	日本農学アカデミーシンポジウム	理事長
23日(日)	農林水産祭式典(第53回)	理事長
25日(火)	戦略的イノベーション創造プログラムキックオフ会議	企画・総務担当理事
27日(木)	(公社)GGG理事会(第2回)	理事長
27日(木)～ 28日(金)	兵庫県水源林造林協議会設立50周年記念式典	森林農地整備センター所長
28日(金)	日本農学進歩賞授賞式及び受賞講演会(第13回)	理事長
12月1日(月)	庁議	理事長
3日(水)	花粉問題対策事業者協議会フォーラム	理事長
4日(木)	農林水産祭「優秀農林水産業者に係るシンポジウム」(第53回)	理事長、業務承継円滑化・適正化担当理事